

第3章

構想の目指す姿

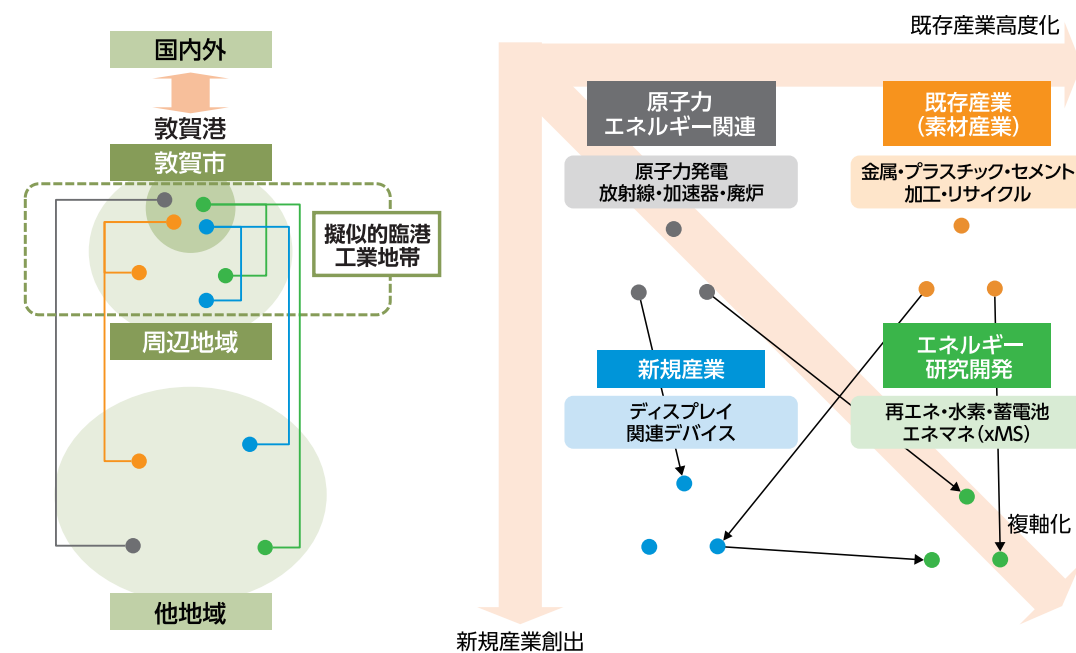
1. 産業構造の複軸化とエネルギーの多元化の将来像

(1) 産業構造の複軸化(産業間連携推進計画)の将来像

産業間連携推進計画による、地場産業の強化と周辺地域との産業との新たなモノのサプライチェーン構築を推進することで、発展性と安定性を有する新たな産業基盤の確立を目指します。

また、この取組を深化させることで、周辺地域を含めた広域的な経済圏を形成するとともに、敦賀港を中心とする擬似的臨港工業地帯化を展望します。

【敦賀市を中心とした擬似的臨港工業地帯や産業構造の複軸化の概念図】

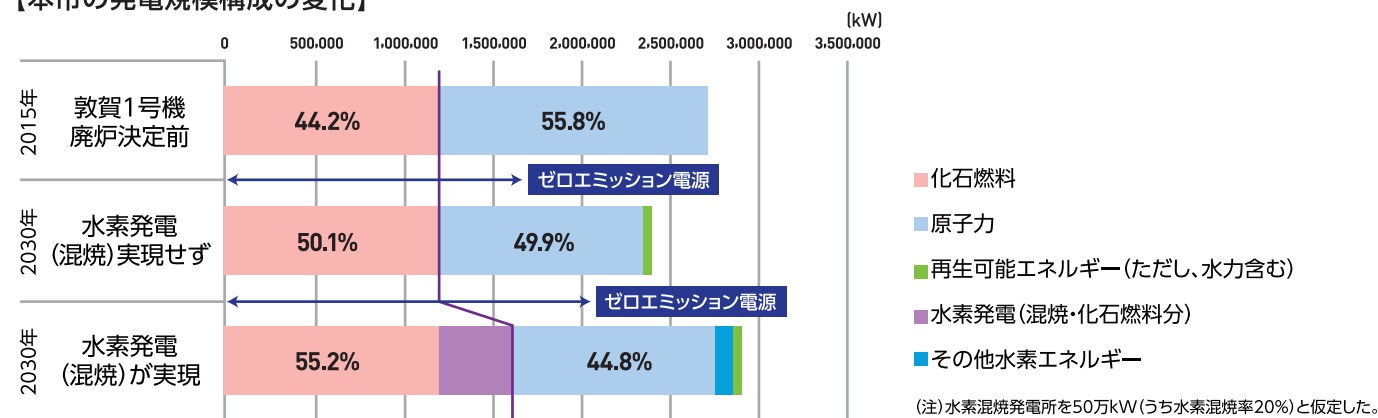


(2) エネルギーの多元化(調和型水素社会形成計画)の将来像

調和型水素社会形成計画による、水素エネルギーの利活用等や周辺地域との新たなエネルギーのサプライチェーン構築を推進することで、エネルギーの多元化の実現を目指します。

また、長期的な将来における水素供給の展開により、地球温暖化対策にも貢献する原子力発電に水素エネルギーを加えた多様なエネルギー供給拠点都市となることを展望します。

【本市の発電規模構成の変化】



2. 産業構造の複軸化とエネルギー多元化による将来の見通し

(1) 経済効果等の見通し

既に先導事業として展開している民間の研究開発事業の支援やサプライチェーンの構築による2030年初頭における経済効果等について、次のとおり見込みます。

【2030年初頭における経済効果等】

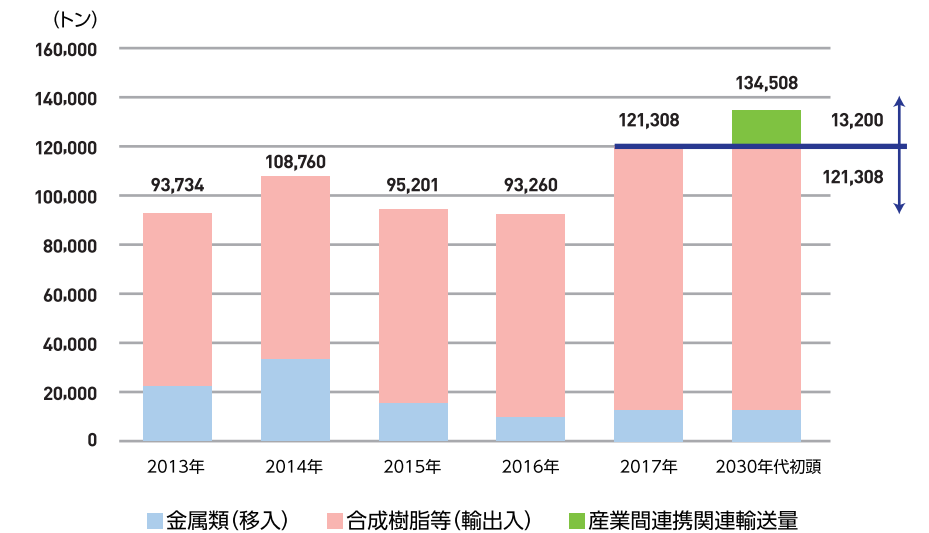
区分	直接効果	波及効果
投資効果	約130億円	-
経済効果	約65億円/年	約6億円/年
雇用効果	約70人	約50人

(2) 敦賀港活性化の見通し

2030年初頭における本市が強みを有する素材産業等の関連品目の敦賀港の取扱量は、右グラフのとおりとなります。

先導事業による民間の研究開発事業の支援やサプライチェーンの構築によって敦賀港の活性化に寄与することを見通します。

【敦賀港の産業間連携関連 輸送量の推移と将来の輸送量増加のポテンシャル】



(3) 人口推移の見通し

先導事業による民間の研究開発事業の支援やサプライチェーンの構築によって、人口推移の見通しは右グラフのとおりとなります。

国立社会保障人口問題研究所の推計人口と比較して、2030年には387人増加することを見通します。

【推計人口と 社人研推計からの増加分】

